

情報通信配線技術フォーラム 2004

情報配線技術・技能競技全国大会「情報ネットワーク施工」部門

「光配線施工 Group.B」 メダリストのご紹介



表彰式

金メダル 中山拓也・宅島尚秀選手 (株式会社協和エクシオ)



銀メダル 大内敬一・横田進選手

(株式会社東電通)

[銀メダルを獲得した現在のお気持ちは?]

横田・大内「とても嬉しく光栄に思っています」

[ご苦労された点はどんな点ですか]

大内「大勢の見学者の視線を意識しないようにするのに苦労しました」

横田「練習の時も競技時間が制限時間内ギリギリであったので時間内に完了させるにはどんな小さなミスもゆるされないのが苦労しました」

[練習はどの程度実施したのですか?]

横田・大内「5日間です」

[どのような練習をしたのですか]

大内「大会を意識・想定して練習をしましたが、大幅な時間超過となりました」

[なにか工夫をされましたか]

横田「練習を見てくださった先輩・上司のアドバイスを参考にして時間短縮に取り組みました」

[具体的には?]

横田「作業分担の明確化、作業手順の遵守、ツールボックスの整理、等です」

大内「作業分担の明確化では特に屋内配線時の同部屋での作業が二人同時となり一人に手空きが生まれないよう工夫しました」

横田「作業手順を遵守することにより今相手がどの作業を実施していて、どの時点でテンションメンバ切断等複数人の作業に移れるかが解るようになりました。」

横田「ツールボックスを地下、架空、屋内に分け必要な工具と材料のみを収納し、工具・材料等を探す時間を短縮しました」

[その結果が銀メダルに繋がった訳ですね、今後この結果をどう生かしたいですか]

横田「それ以外にも仕事の丁寧さ、室内配線的美観等にも気を配りました。職場へ戻っても今回の経験を生かしより早く、より丁寧な仕事をどう進めるか考えながら仕事に反映させてゆきたいです」

大内「技能五輪を目指す若手社員にこの感激を伝えたいです」

[最後に何かあれば]

横田・大内「会社幹部はもとより、練習を含めた期間中職場で頑張っていた先輩・同僚各位に心からj ¥感謝とお礼申し上げます。」



左が横田 進(表彰状を待っている)、右が大内 敬一 です

銅メダル 尾野善保・南建選手 (日本電話施設株式会社)

